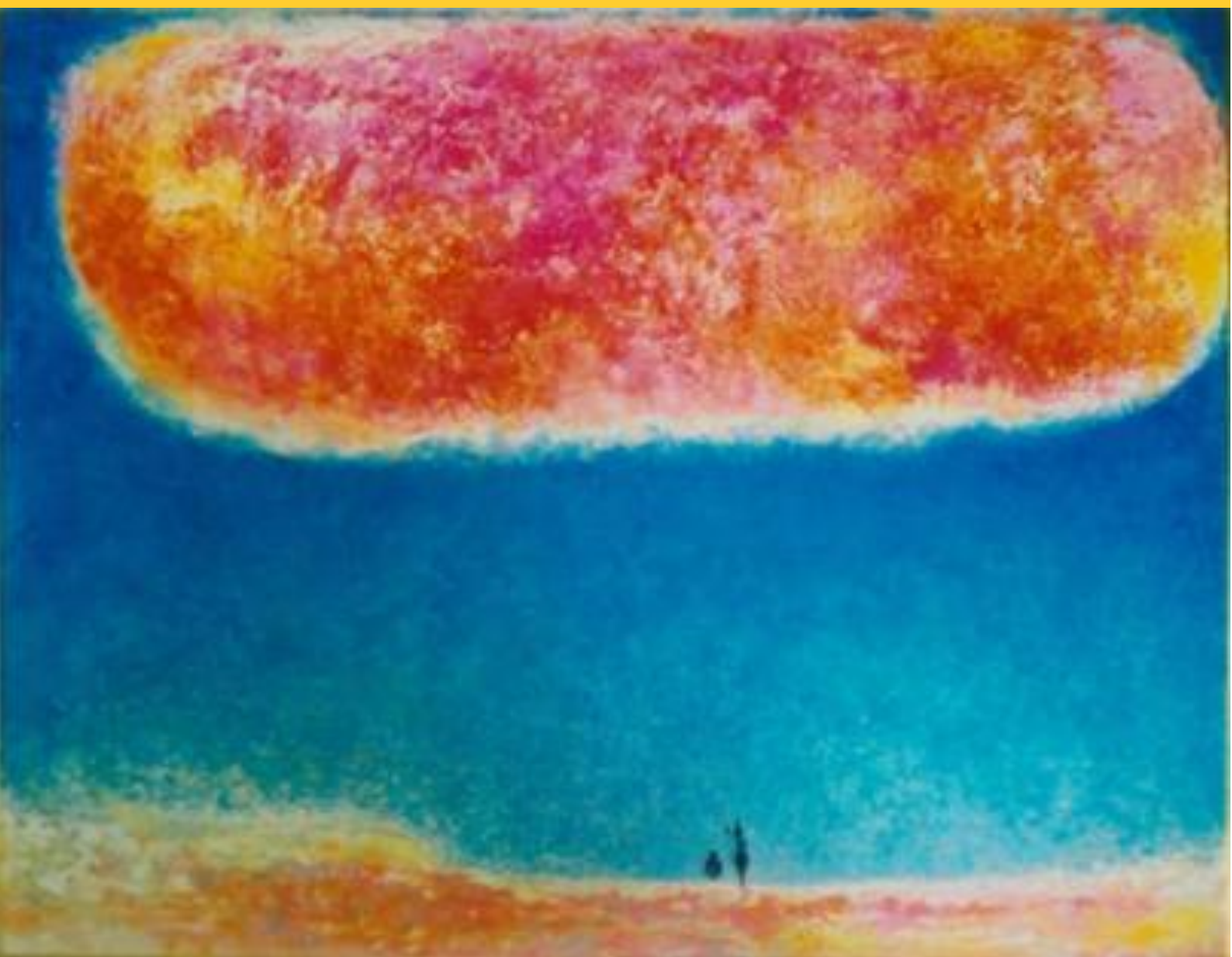


聖徳大学収蔵名品展

利根山光人先生 晩年の油彩



利根山光人 《嗚呼！》 1990年 196×243cm

令和8年

9月7日(月)～10月24日(土)

聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー





《炎天》1990年 49.0×58.5cm



《古代の太陽》1990年頃 107.0×133.0cm



《駿馬》1990年 209.3×145.5cm

あなたの記憶のなかにある利根山先生の絵はどんな色ですか？

晩年に描かれた油絵9点を展示します。いつも見ている壁画や緞帳とはちょっと違った、明るく繊細な色合いをじっくりご鑑賞ください。

利根山 光人 （とねやま こうじん）
1921 - 1994

1921年、茨城県結城市生まれ。1943年、早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。1951年、第3回読売アンデパンダン展で本格的に画壇にデビュー。1955年に東京で開催されたメキシコ美術展に感動し、1959年以降しばしばメキシコを訪問。特に古代マヤ文明に大きな啓受を受け、古代文様に現代のイメージを重ねる独特の作風を鮮烈な色彩のうちに展開した。1960年、聖徳学園高等保育学校（現 聖徳大学幼児教育専門学校）の講師に着任。その後34年間にわたり、聖徳学園短期大学（現 聖徳大学短期大学部）、聖徳大学で教鞭をとられた。短期大学新校舎建築に際しては、設計や色彩計画等の企画に参画し、芸術的な教育環境づくりを目指した。その結果、学園内に魅力あふれる壁画がいたるところに設置され、「聖徳学園は壁画の園（その）」と称されるまでになった。

1981年、川並香順記念講堂の緞帳（どんちょう）により第6回吉田五十八賞を受賞。1985年、第17回日本芸術大賞を受賞。メキシコとの文化交流にも力を注ぎ、1986年にメキシコにおける最高文化勲章であるアギラ・アステカ・ブラーカ章を受章。さらに、1994年には勲四等瑞宝章を受章された。

●交通のご案内

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・京成松戸線
松戸駅東口より徒歩5分 ※学内に駐車場はありません。

●開館時間 9:00~17:00

●休館日：日曜・祝日、学事日程による休業日

お問い合わせ先

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

TEL 047-365-1111（大代表） 図書館事務室

